

# 平成25年度 第2回行政改革推進委員会 傍聴者アンケートの結果

※ 傍聴者12人/19人から回答

## 問1 お住まいの地区は？

1 市内(12人)    2 市外(0人)    3 未記入(0人)

【市内の内訳】

・袋井西 2    ・袋井北 1    ・山名 1    ・三川 1  
・笠原 1    ・浅羽北 2    ・浅羽東 1    ・その他(浅羽、未記入) 3

## 問2 年代と性別は？

年代

1 10代(0人)    2 20代(1人)    3 30代(0人)    4 40代(2人)  
5 50代(0人)    6 60代(9人)    7 70代以上(0人)

性別

1 男(11人)    2 女(0人)    未記入(1人)

## 問3 開催を何で知ったか？

1 市ホームページ(1人)    2 市広報紙(3人)    3 新聞(0人)  
4 その他(7人)    未記入(1人)

【その他の内訳】

議会事務局を通じて。会議の際に案内があったなど。

## 問4 傍聴したテーマは？

1 ①市税収納対策のあり方(2人)  
2 ②企業誘致策のあり方(1人)  
3 ①と②の両方(9人)

## 問5 市職員の説明は？

1 とてもわかりやすかった(1人)  
2 わかりやすかった(5人)

・市税の収納、企業誘致と正解のない難しい問題。今後も、他市の状況を見ながら、業務に取り組んでほしい。  
・企業誘致のあり方についての説明は、わかりやすかった。

3 どちらともいえない(5人)

・市税収納対策の数値の把握(概数)があまりにも不十分。

4 わかりにくかった(2人)

・市税収納対策のあり方についての説明は、わかりにくかった。

5 とてもわかりにくかった(0人)

## 問6 行政改革推進委員と市職員との討論（やりとり）は？

### 1 とてもよかった（2人）

- ・とても勉強になった。民間の方の意見は、今後の市政の運営に今以上に重要になってくると思う。

### 2 よかった（3人）

- ・よかったが、時間不足を感じた。

### 3 どちらともいえない（4人）

- ・質問を理解する能力に問題。
- ・行革委員と職員との連携不足？質問等

### 4 悪かった（1人）

### 5 とても悪かった（0人）

### 未記入（2人）

#### ※その他の意見

- ・専門性の強い内容なので、特定・少人数の現委員では難しい。市民には、それぞれ人材がいると思うので、委員を選定するのに考慮した方がよい。今回の件は、この委員会とは違う形態で討論した方がよいと思う。市税収納対策は、市職員側の説明が稚せつである。
- ・行革委員の質問に対して、「手元に資料がないので詳細がわからない」では、回答にならない（討論会の意味がない）。質問者は、核心的な視点で聞いている。

## 問7 今後も、公開で継続して開催していくべきか？

### 1 とてもそう思う（5人）

### 2 そう思う（6人）

### 3 どちらともいえない（1人）

### 4 あまり思わない（0人）

### 5 まったく思わない（0人）

## 問8 自由意見（主なもの）

- ・テーマを何にするかが重要。もっと市民に関係するテーマの方がよいのでは。
- ・市の立場からの資料はきちんとしているが、客観的にとらえる資料が少ない。例えば、滞納については滞納額別の人数とか不能欠損の率など。
- ・目的がはっきりしないのでは。（説明会か、評価会か）
- ・勉強になった。行政の方向性を示すためには、市民にとっても重要な機会だと思った。
- ・テーマに合った委員の選任も考えることで、より有効な討論になると思う。
- ・企業訪問や誘致のアタックを重ねた結果で、うまく成約に至らなかった、先方からの要求に応えられなかった「失敗に学ぶ」事象の探求、分析も必要である。
- ・小笠山開発に伴う市の企業誘致策について、市担当の積極的な取組を期待する。